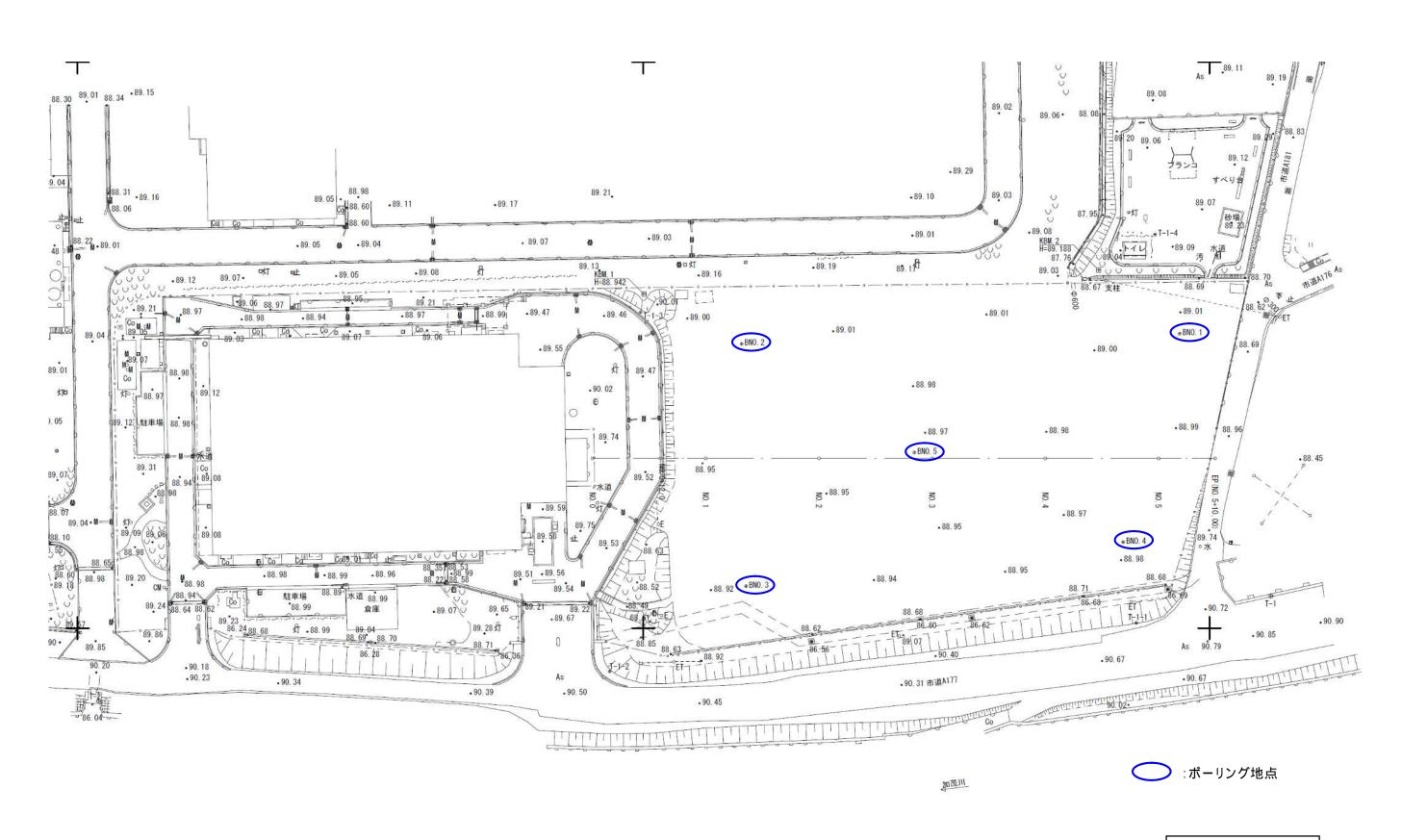


注:建設予定地の旧施設のレイアウト,構造等は把握できておらず,地下障害物の有無及びその程度は明確ではない。 この点に関する対応の考え方は事業者の提案による。なお,工事に際して確認された既存構造物について,撤去等が 必要な場合には,変更協議の対象とする。

事業実施区域



平面図

調 査 名 津山圏域衛生処理組合汚泥再生処理センター施設整備に係わる地質調査

ボーリングNo. 1 4 1 1 2 9 0 1

-	リン	グ名			N	lo. 1			調査位置	置					2	車 1	山市		川崎	É	地口	A					北	Ĭ,	緯:	3 5 '		3 '	2 0	. 0
Ě ž	主機	き 関				津	山	圏力	域衛生処理組	合				調3	上期	間	平月	克 2	6年				~ 2	6年	10月	21 F			経			1		. 0
問査	養 業 :	者名			建設電話(0				社 3 7 8 7) 主任技[師 前	前原禾	1 光		現代	理	場人		前房	(利)	光	部	定	ア者	前。	原利	光		-リン 任				井	隆	ğ
l I	口標	高		H= . 01m	角	180°			方 北 0 90 90	地	水平。	0.	使用	試		-			,	Y S (0 - 1		ш		ハンド落下月				自動	落	下	装 置		
8 1	屈 進	長	1113	6. 00m	度	下。	丿"		西 東	盤勾配	水平,		機種	Ι:	ノジ	ン			Ī	NFI	D - 1	0			ポン				S	P -	4 0	В		
-24			1000									孔						244								Tax.	NAMES IN	2023	467.5					
票	標	層	滐	柱	土	色	相	相	記			内		VIII 275 - 13			標	準	頁	<i>></i>	话	、 験				原		5000	試!		式 料	採		室物
	-tr	tier.	ete	ane	質		対	対				水位(m)	7000'E	10cm 打算		数	打 撃 回				N	o fi	直			深	試お		€ ↑ 『結月		124214	at i	馬	式 資
尺	高	厚	度	状	区		密	稝				/ 測定	度	0	10 2	0	数/買									度					度	料工器	以った)
m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事			月	(m)	10	20 3	- 113	入量									(m)					(m)	号 }	±,	- 1
75	88.71	0.30	2000		砂質土	1000	180	222	真砂土。よく締まって	ている。		日	3,614,7	10	20 3	(4	em)	0	10		20	30	4	0	50 6	0 (111)	X			/ \	(m)	3 1	**	+
	88.21	0.50	0.80	0000	礫質土	暗灰茶	中くらい		φ5~50mmの亜角礫を	多く含む					:20 0																			
1					礫混じ り砂質 粘土	暗緑灰	中ぐ		φ20mm以下の礫、細 土。		20			2	5	2	9 9	,	0								1000							
2	67.21	1.00	1.80	0.709			50		腐植物を混入する。			2.00 Z	1.45	50			50 7																	
	85.91	1.30	3.10	0000	砂 pis	灰茶 ~緑 灰	中ら一な		ゅ5~80mmの礫を多く は、粗砂が主。 深度2.0m付近に地下	合む。砂 水。		-	2,17	16	19 1									-										
J				::::					新第三紀の礫岩。固細	吉度が低く	(IE		3.43	250	1	8	50 28 50 50	4						-	*									ij
4				***		青灰			とんどが碟状コアと) 深度4.7m~5.0mは.	なる。 - 固結度2	82-05-1-		4.03	黄	入不能	Ē.	0	-	-			-			-	-								152
	84.01	1.90	5.00	***	1202				し、短柱状コアとな	る。			5.00	280	入不信		50																	1
5	17 20 21	2,0,0	.0.00										5.00		20.00	lia.												******						-
6																			_															
7																		-	+		+					-	100							
8																												******						
9																																		
10																		-				-	_			4								
11																						+								7.55				

13

查 名 津山圏域衛生処理組合汚泥再生処理センター施設整備に係わる地質調査 ボーリングNo. 1 4 1 1 2 9 0 2 事業・工事名 平成26年度津山圏域衛生処理組合汚泥再生処理センター施設整備 シートNo. 3 20.0" ボーリング名 No. 2 調査位置 津山市 川崎 地内 緯 35 * 発 注 機 関 津山圏域衛生処理組合 調査期間 平成 26年 10月 30日 ~ 26年 10月 31日 東 経 134 11 52.0" 河井建設工業株式会社 ポーリング 電話(0868-26-3787)主任技師 調査業者名 前原利光 前原利光 前原利光 前島 務 代理人 鑑定者 責 任 者 北,0° ハンマー 180 方 鉛厂产0 孔口標高 試 錐 機 TD - IAトンビ 盤勾配 用機種 89.00m 上 190 四 第 東 落下用具 直 20 総掘進長 6.00m エンジン ポンプ NFD-10 BG - 3B向 180 南 標 層 深 柱 土 色相相 記 標準貫入試験 原位置試驗試料採取室掘 内 水位 深 10cmごとの 打 撃 試 験 名 深試採 試 対対 質 進 および結果 N _ 値 験 打擊回数 回 (m) 高 厚 度 状 料取 0 / 測 度 0 10 20 度 度 密稠 X 月 質入 方 番 1 1 1 定 月 × (m) 10 20 30 cm) 分 調度度 (m) (m) (m) 事 日 (m) 号法 (m) 88.70 0.30 0.30 砂質土 黄茶 密な 真砂土。よく締まっている。 玉 φ5~30mmの礫が主で、多量に含む。所々にφ10cm程度の玉石を含 石 1.15 3 4 3 10 30 10 混 む。 砂は中砂が主。 深度1.0mまではよく締まってい る。それより下はやや緩い。 灰 1.45 10/31 2.15 2 1 3 茶 砂 86.50 2.20 2.50 2.45 礫 GL-2.45mに水位がある。 & 10~50mmの睫を多く含む砂。砂 は、中から細砂。 下部、GL-3.5m以下は、シルト分 細部分がない。 中ぐら 3.15 3 4 5 12 30 12 3 混じ 暗 灰 3.45 り砂 茶 4.15 6 18 26 細砂分が多い。 50 84.70 1.80 9 中生代の泥質岩 (頁岩) 、岩質は 4.44 硬い。 一部碟状となるところもあるが、 長さ10cm~15cmの棒状コアが採取 される。 亀裂面に変色・変質は見られない。中硬岩に相当。 費入不能 0 暗 5.00 5 質 青 TIT 岩 灰 6.00 費入不能 83.00 1.70 9 10

11

12

13

津山圏域衛生処理組合汚泥再生処理センター施設整備に係わる地質調査 查 ボーリングNo. 1 4 1 1 2 9 0 4 事業・工事名 平成26年度津山圏域衛生処理組合汚泥再生処理センター施設整備 ボーリング名 緯 35" 3' 18.0" 調査位置 津山市 川崎 地内 No. 3 津山圈域衛生処理組合 経 134 1 52.0" 発 注 機 関 調査期間 平成 26年 10月 22日 ~ 26年 10月 23日 東 河井建設工業株式会社 ボーリング 調查業者名 主任技師 前原利光 前原利光 前原利光 臼井 隆 鑑定者 電話 (0868-26-3787) 代理人 責 任 者 使用機種 ハンマー 角 180 H= 試錐機 YS0-1B 自動落下装置 孔口標高 地盤勾配 鉛水平 0° 直 上] 90 落下用具 88. 94m 四 東 エンジン ポンプ 総掘進長 5.00m N F D - 1 0SP-40B度 0 向 180 南 孔内 標 標 層 深 柱 1 色相相 記 標準貫入試験 原位置試験試料採取室掘 水 試 驗 深 10cmごとの 名 深 試 採 試 位 対対 進 質 値 および結果 打擊回数 (m) 料取 尺 高 厚 度 状 /測 度 0 10 20 度 度 X 密稠 月 番方 1 1 定 月 調度度 (m) 10 20 30 (cm) H 义 分 事 号 法 (m) (m) (m) (m) (m) (m) H 真砂土。よく締まっている。 φ10mm~50mmの亜角礫、φ15cm程 度の玉石多い。砂は粗~中砂。 玉石混 灰茶 中ぐらい 87.94 0.70 30 1.15 I I 2 緩 1.45 φ5mm~50mmの礫を少量含む。砂 は中~細砂が主。 含水比は小~中で、よく締まって いる。孔壁の崩壊性は中。 10/23 2.30 2.15 5 5 5 混 15 茶 中 30 15 2.45 1) 3.15 15 12 6 33 85.44 2.50 中生代の泥質岩(頁岩)。概ね長さ10cm~15cmの棒状で採取される **敢**入不能 が、 部分的に礫状となる。 中硬岩に相当。 5.00 貫入不能 5.00 83.94 1.50 5.00 10 11 12 13

査 津山圏域衛生処理組合汚泥再生処理センター施設整備に係わる地質調査 ボーリングNo. 1 4 1 1 2 9 0 4 事業・工事名 平成26年度津山圏域衛生処理組合汚泥再生処理センター施設整備 ボーリング名 緯 35 3 20.0 % 調査位置 津山市 川崎 地内 北 No. 4 発注 機関 津山圈城衛生処理組合 調査期間 平成 26年 10月 21日 ~ 26年 10月 22日 東 経 134 1 52.0 河井建設工業株式会社 ボーリング 調查業者名 主任技師 前原利光 前原利光 前原利光 臼井 隆 電話 (0868-26-3787 鑑定者 代理人 責 任 者 使用機種 北,0 ハンマー 方 試 錐 機 孔口標高 2盤勾 Y S O - 1 B自動落下装置 鉛水平 0° 直 88.98m 四 90 東 落下用具 総掘進長 エンジン ポンプ 5.00m SP-40B N F D - 1 0180 南 孔内 標 層 深 柱 色相相 ±: 記 標準貫入試験 原位置試験試科採取室掘 試 験 名 深 試 採 水 深 10cmごとの 打 位 質 対対 進 および結果 験 打擊回数 回 (m) 尺 高 厚 度 状 料取 度 0 10 20 度 度 密稠 X 測 月 番方 1 1 1 定月 (m) 10 20 30 cm) 分調度度 (m) (m) (m) X (m) 号法 ~ 日 (m) Ħ 真砂土。よく締まっている。 φ5mm~80mmの亜角礫を多く含む。 1.15 5 12 10 27 中 位 小群を少量含む砂質シルト。 30 27 1.45 10/22 2,20 ¥ 2.15 7 7 5 19 ◆5mm~50mmの鎌を多く含む。砂 は粗~中砂が主。 よく締まっている。孔壁の崩壊性 は中~大。 30 19 2.45 礫 厌 8 10 20 38 3.15 3.45 中生代三畳紀の泥質岩 (頁岩)。 長さ10cm~25cmの棒状コアで採 取。 一部で碟状となるが、概ね新鮮で 安定した岩盤。 岩質は中硬岩に相当。 **東入不能** 50 翼 青 灰 黄入不能 6 7 8

10

11

12

13

查 名 津山圏域衛生処理組合汚泥再生処理センター施設整備に係わる地質調査 ボーリングNo. 1 4 1 1 2 9 0 5 事業・工事名 平成26年度津山圏域衛生処理組合汚泥再生処理センター施設整備 ボーリング名 No. 5 調査位置 津山市 川崎 地内 緯 35 3 19.0 " 発 注 機 関 津山圏域衛生処理組合 調査期間 平成 26年 10月 29日 ~ 26年 10月 30日 東 経 134 1 53.0" 河井建設工業株式会社 ボーリング 調査業者名 前原利光 主任技師 前原利光 前原利光 前島 務 電話 (0868-26-3787 代理人 鑑定者 責任者 使用機種 方 北10 ハンマー 試 錐 機 孔口標高 整勾配 TD - 1Aトンビ 88.98m 鉛水平 0 四 東 落下用具 総掘進長 5.00m エンジン ポンプ NFD-10 BG - 3B向 0° 南 0 180 孔 色相相 標 層 深 柱 土 記 標準貫入試験 原位置試験試料採取室掘 内 深 10cmごとの 打 撃 水 試 験 試 採 深 深 仗 質 対対 進 値 および結果 験 打擊回数 [1] (m) 厚 尺 高 度 状 料取 /測 度 0 10 20 度 度 密稠 区 月 貫 番方 1 定 月日 (m) 10 20 30 (cm) 分 調度度 (m) (m) (m) (m) 义 事 H 号 法 (m) (m) 88.68 0.30 0.30 砂質土 黄茶密な 真砂土。よく締まっている。 石 茶~灰水電〜常密 1.15 11 9 9 29 30 混じり 1.45 2.00 38 12 3 50 13 115 10/30 1.45 2.15 2.00 茶 2 86.68 2.00 2.30 砂 φ10mm~40mmの礫を混入する。砂 は中~細砂が主。 孔壁の崩壊性は大。 弾混じ 暗灰 中ぐ り砂 茶 らい 4 43 6 50 26 58 3.05 85.68 中生代三畳紀の泥質岩 (頁岩)。 中生代三畳紀の泥質岩 (頁岩)。 長さ10cm~40cmの棒状コアで採 取。 亀裂少なく、新鮮で安定した岩 盤。 岩質は中硬岩相当。 3.31 50 章入不能 質 岩 厌 50 0 5 83.98 1.70 5.00 黄入不能

7

9

10

11

12

13

既存施設の搬入量・処理量の実績

項目		搬入量		場 内	下 水	場内処理			
/ 左麻	し尿	浄化槽汚泥	計	処理量	移送量	日平均	処理割合		
年度	(kL/年)	(kL/年)	(kL/年)	(kL/年)	(kL/年)	(kL/日)	(%)		
H15	40,501	28,525	69,026	58,420	10,606	160	106.7		
H16	39,018	28,159	67,177	58,213	8,964	159	106.0		
H17	36,411	31,038	67,449	55,828	11,621	153	102.0		
H18	33,606	32,064	65,670	52,187	13,483	143	95.3		
H19	32,423	35,474	67,897	56,008	11,889	153	102.0		
H20	30,960	36,387	67,347	55,426	11,921	152	101.3		
H21	29,237	40,247	69,484	56,791	12,693	156	104.0		
H22	27,928	38,912	66,840	54,644	12,196	150	100.0		
H23	26,921	38,956	65,877	53,704	12,173	147	98.0		
H24	25,365	40,035	65,400	53,326	12,074	146	97.3		
H25	24,826	39,423	64,249	52,351	11,898	143	95.3		

注:場内処理量=搬入量計-下水移送量

別紙2

将来搬入量の推計結果

						推計	結果				
		H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
	(1) 計画処理区域内人口	119,572	118,643	117,714	116,784	115,854	114,925	113,995	113,066	112,137	111,207
	(2) 下水道人口	42,291	43,578	44,866	46,153	47,440	48,728	50,015	51,303	52,590	53,878
水洗化·生活雑排水処理	(3) 農業·林業集落排水施設人口	3,156	3,156	3,156	3,156	3,156	3,156	3,156	3,156	3,156	3,156
	(4) 合併処理浄化槽人口	53,598	53,841	53,844	53,629	53,213	52,616	51,854	50,941	49,892	48,718
水洗化·生活雑 排水未処理	(5) 単独処理浄化槽人口	9,239	8,329	7,462	6,640	5,863	5,133	4,448	3,809	3,216	2,665
非水洗化	(6) し尿処理施設人口	11,288	9,739	8,386	7,206	6,182	5,292	4,522	3,857	3,283	2,790
14小术化	(7) 自家処理人口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(8) 農業·林業集落排水施設人口	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85
排出原単位	(9) 合併処理浄化槽人口	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85
(L/人·日)	(10) 単独処理浄化槽人口	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85	1.85
	(11) し尿処理施設人口	2.14	2.14	2.14	2.14	2.14	2.14	2.14	2.14	2.14	2.14
	(12) 農業·林業集落排水施設汚泥 = (3) × (8)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
必要処理量	(13) 合併処理浄化槽汚泥 = (4)×(9)	100	100	100	100	99	98	96	95	93	91
(kL/日)	(14) 単独処理浄化槽汚泥 = (5)×(10)	18	16	14	13	11	10	9	8	6	5
	(15) し尿量 = (6)×(11)	25	21	18	16	14	12	10	9	8	6
	(16) 合計 = (12) + (13) + (14) + (15)	149	143	138	135	130	126	121	118	113	108
(17) 月最大	1.13	1.13	1.13	1.13	1.13	1.13	1.13	1.13	1.13	1.13	
(18) 必要:	(18) 必要規模: 浄化槽汚泥 = ((12) + (13) + (14)) × (17)			136	135	132	129	126	124	119	116
(19) 必要:	規模 :し 尿 =(15)×(17)	29	24	21	19	16	14	12	11	10	7
(20) 必要	170	162	157	154	148	143	138	135	129	123	

平成31年度から平成40年度の搬入量は,上表,「(20)必要施設規模」による。平成41年度から平成50年度の搬入量は,平成40年度の搬入量を準用する。

[:]処理割合 =場内処理量/計画処理量(150kL/日)

別添資料

各室内部仕上げ

室 名	床	巾木	腰	壁	天 井	備考
 管理諸室						-
中央監視室						
会議室						
作業員控室						
更衣室						
浴室						
脱衣室						
玄関						
ホール						
給湯室 						
洗濯・乾燥室		_		ļ		
便所(男女別)		_				
多目的便所						
書庫				ļ 		
倉庫						
廊下・階段						
エレベータ室						
受入室・受入監視室				-		
前処理・脱水室						
活性炭吸着塔ヤード						
地下ポンプ室		_				
ブロワ室						
脱臭ファン室						
自家発電機室		_				
水槽上部室				ļ 		
資源化室				ļ 		
沈砂搬出室						
資源物搬出室						
資源物貯留室						
脱臭室						
電気室						
水質試験室						
工作室						
薬品庫						
便所						
倉庫						
その他		7 1 2 7 1 1				

上記諸室は現状で想定するものであるが,各社からの提案による追加修正は差し支えない。

処理水槽内部仕上げ

水 槽 名	床	壁	天 井	備考
沈砂槽				
受入槽				
 貯留槽				
混和槽				
凝集槽				
汚泥貯留槽				
分離液槽				
雑排水槽				
その他前凝集工程水槽				
硝化・脱窒素槽				
その他主処理工程水槽				
原水槽(高度処理)				
処理水槽				
その他高度処理工程水槽				
接触槽				
放流水槽				
その他の水槽				

上記水槽名は主要なものを列記したものであり,詳細は各社からの提案による。

その他備品等のリスト(参考)

場所	品目	数量	備考
事務室	事務机(施設管理者用)	1	
	事務机(一般)	5	
	事務椅子	6	
	引き違い書庫	2	
	スチールボックス	5	
	ホワイトボード	1	
	揭示板	1	
	キーボックス	1	
	ゴミ箱	6	
	電話台	2	
	電波時計	1	
	コピー機(複合機)	1	
	テレビ	1	
会議室	会議用テーブル	20	
	折りたたみイス	50	
	演台	1	
	可動式回転ホワイトボード	1	
	電波時計	1	
	ゴミ箱	2	
作業員控室	座卓	1	
	電波時計	1	
	ゴミ箱	1	
	テレビ	1	
更衣室	ロッカー	2	
玄関	靴棚	1	
	傘立て	1	
	玄関マット	1	
ホール	電波時計	1	
給湯室	食器棚	1	
	湯沸かしポット	1	
	IH調理器	1	
	冷蔵庫	1	
	電子レンジ	1	
	給茶セット	1	
	ゴミ箱	1	
便所・多目的便所	ゴミ箱	3	
書庫	スチール棚	3	
受入監視室	机・イス	1式	
	折りたたみテーブル	1	
	折りたたみイス	4	
	ホワイトボード	1	
	湯沸かしポット	1	
T /Z	時計	1	
共通	掃除用具入れ	2	
	掃除機	1	
	乾湿両用バキュームクリーナー	1	 「AEDの適正配置に関するガイドライ
	AED(自動体外式除細動器)	1以上	ン」等を参考とする。
管理部門全室	カーテン、ブラインド等	1式	